

平成 30 年度 定時総会 理事長挨拶

皆さんこんにちは、本日、平成 30 年度の定時総会をご案内しましたところ多くの会員の皆様にご参加いただきありがとうございます。

また、公私ともご多用の中、綾部市長 山崎善也様 はじめ多くの来賓の皆様にご臨席いただき、誠にありがとうございます。

重ねて、常日頃の当センターへのご支援に関し、深く感謝申し上げます。

さて、この後、平成 30 年度安全適正就業標語の優秀作品者 2 名と会員として 10 年以上在籍いただき、センター事業運営に功績があった 17 名の方を表彰させていただきます。

受賞されました皆様、誠におめでとうございます。

今後、更なる活躍をお願い申し上げます。

当センターは、昨年、設立 30 周年を迎え、各種記念事業を開催させていただくとともに、シルバーの存在意義の点検をさせていただきました。

設立以来の基本理念「自主・自立・共働・共助」に基づき、就業を通じ、地域貢献を図ることを確認させていただいたところです。

平成 29 年度は、受注件数 4,377 件と契約金額が受託事業と派遣事

業の合計金額 223,165 千円で、設立以来の最高を達成することができました。

これも一重に、市民の皆様並びに関係各位の厚い支援と会員の皆様の努力の結果と厚く感謝申し上げます。

平成 30 年度も積極的な事業展開を図るため、次の 3 点を重点的に取り組みます。

1 点目は、地域ニーズと会員の就業希望とのミスマッチを解消し、安全適正就業を図りながら、多様な受託事業を展開するために、女性会員の加入促進と各種講習・研修会の充実を図ります。

2 点目は、介護事業の積極的展開です。

全国では、2025 年には 65 歳以上の介護が必要な人口が、現在より 1.22 倍の 770 万人になると想定されています。

当センターでの介護関連事業の平成 29 年度の実績として、独自事業の「生活あれこれ」が年間で 1, 1 1 2 回の利用がありました。

さらに、市独自事業の訪問介護サービスの「いきいき生活支援事業」についても、年間 1,091 回の利用がありました。今後とも多様な介護事業の取り組みを行います。

さらに、平成 28, 29 年度については、市の委託事業として実施し

ていました「いきいき生活支援事業」が、平成30年5月から6年間の指定事業所としての指定を受けましたので、更なる事業展開を図ります。

3点目は派遣事業の積極展開です。

綾部市内の有効求人倍率は3月時点で1.58倍と依然高い水準です。

当センターの求人ニーズも高いものがあり、今後も積極的対応を図ります。

また、従来のシルバーの就業に関しては、「臨時・短期・軽易」の規定により週20時間、月10日とされていますが、平成28年度に特例措置が創設され、一定の条件整備を図ることにより、派遣に限り最大週40時間までの就業が可能となります。

しかしながら、実施に際し多くの課題がありますので、30年度に十分な議論をしたのちの検討とさせていただきます。

さらに、以上の取り組みを通じ、自主財源の確保に努めますので、会員の皆様の、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、今日ご参会の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念して、私の開会のあいさつとさせていただきます。

